バリフリカバー

2020年度グッドデザイン賞受賞

（株）ニチマンラバーテック共同開発品

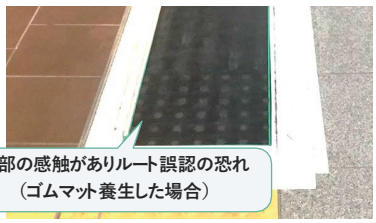
仮設誘導ブロック・養生マット

開発経緯

● 鉄道施設の改良工事において、通路切替等に伴いバリアフリールートの変更が複数回行われるが、以下の課題がある。

1. 既設の誘導・警告ブロックを仮設材で覆っても**歩行時に凸部の感触が残ってしまう**
2. 既設の誘導・警告ブロックを仮設材で覆った際に、**仮設材の厚みによる段差が生じる**
3. 夜間の限られた時間内で施工するにあたり、**施工性の向上を図る**必要がある
4. 長期間設置しても摩耗しないように**耐久性の向上を図る**必要がある

①タイル表面の凸凹



③施工性の向上

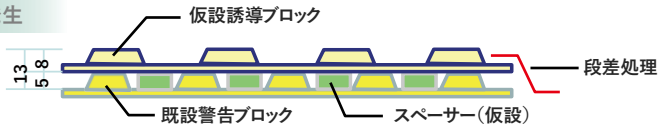


④耐久性の向上



表面は黒ずみ、凸部はほとんど摩滅している（新宿駅で6ヵ月使用）

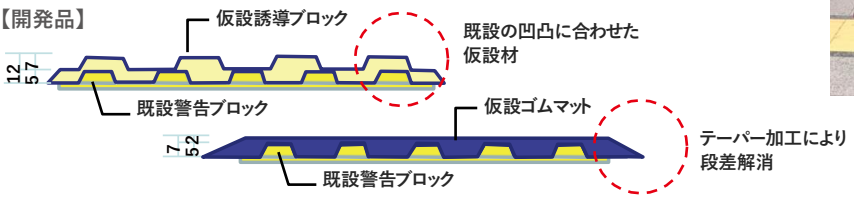
②段差の発生



特長

1. 仮設材の裏側に既存の**凸部に合わせた凹みを設け、パズルのようにフィックス**
2. 端部に**テーパーを設けて躓き防止措置**を実施。
3. 素材（ゴム）の配合を見直し**耐久性が向上**（新宿駅等で実証済）
4. 施工性・耐久性向上よりランニングコストが**コストダウン**

【開発品】





開発品設置前

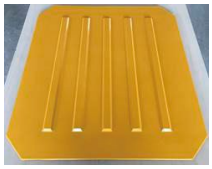


開発品設置後

【開発品ラインナップ】



表面：警告ブロックタイプ



表面：誘導ブロックタイプ



表面：ゴムマットタイプ



裏面：既設が誘導ブロック仕様



裏面：既設が警告ブロック仕様

採用実績

● JR東日本：新宿駅

知的財産権

● 特許第7140322号

お問い合わせ

お問い合わせ	JR東日本 東京建設PMO 駅まちづくりユニット 建築戦略 03-3493-1831（代表）
製造・販売	株式会社ニチマンラバーテック 03-5824-0045

資料提供：東日本旅客鉄道株式会社